

土から作った絵の具に子どもらびっくり！ ビジターセンター自然ふれあい行事

洞 爺湖ビジターセンターの身近な自然の色を見つける企画の第2弾として、「洞爺湖の大地の色で絵を描こう」が6月19日同センターで開かれ、親子づれら10人が、洞爺湖の大地から採取してきた土の絵の具で絵を描きました。

土の絵の具は、金比羅火口、災害遺構、財田の水田など町内1か所の土をふるいにかけて、水でのばした接着剤

と混ぜたもので、場所やでき方での色の違いを観察しました。

最後は、自分で作った絵の具で塗り絵を完成し、土から出来た絵の具にあらためて驚いていました。



いろいろな土の感触を楽しむ参加者

月浦森林公園散策 隠れた名所で新発見

地 元の隠れた名所を訪れようと教育委員会が主催して、自然に親しむ集い - 月浦森林公園への散策 - が6月19日行われました。

参加は約20人で、晴天の中月浦ポロモイ温泉に集合し、月浦浄水場、tetotなどを回り新緑の息吹を感じながら目的地の同森林公園へ到着。できたばかりのお屋敷休憩所でお昼をとり、同温泉に戻る約7kmの道のりを、額に汗をうっすらうかばせながら歩きました。

同公園は、バードウォッチングや森林浴などを楽しめる自然豊かな場所で、休憩所もでき、今後一層の活用が期待されています。



森林公園の中を歩く参加者

町内名所を散策し自然に親しまおう！

ヤナギでアート 草木染で色合い楽しむ

ヤ ナギでアートの第2弾「草木染を楽しむ」が、6月12日財田自然体験ハウスで開かれ、13人の親子づれが参加して、煮染めとすり染めの2種類の草木染めに挑戦し、身近な木ヤナギから生まれる色を楽しみました。

煮染めでは、ヤナギの木の皮を煮出した液を使い、布に輪ゴムや割り箸を使って思い思いの模様をつけ染め付けました。

すり染めは、ハサミやカッターで切り抜いた型紙を使いながら、厚紙に模様を描き、草木によって異なる色合いに驚いた様子でした。



煮染めを楽しむ参加者

噴火から100年 よみがえる四十三山観察会

四 十三噴火から100年を迎える今年、あらためて100年の森の歩みを観察しようと、自然ふれあい行事「四十三山 森の観察会」(主催 環境省北海道地方環境事務所・(財)自然公園財団昭和新山支部)が6月19日(土)約30人が参加して行われました。

出発前に噴火直後の火山灰に一面覆われた四十三山の写真を見た後、鈴木隆(元林業普及指導員)さんを講師に観察会へ出発。要所、要所で鈴木さんの説明を聞きながら、ドロノキやカツラなど数種類の植物が根を這って緑の森になっている現在の状況に、参加者は、自然の力強さを感じていました。



よみがえった四十三山を視察する皆さん